

2021年3月期 第2四半期
決算補足説明資料

2020年11月9日



証券コード：8715

新型コロナウイルス感染症の影響による需要は徐々に落ち着きつつあるものの、第2四半期（7-9月期）においても、ペット飼育需要については堅調に推移。これに伴い新規・保有契約件数も順調に増加

- 上期の新規契約獲得件数は これまで過去最高の10万件超を達成
- 9月末時点の保有契約件数は 87万件を超え、前年同期比11.5%増を達成
- 需要は落ち着きつつあるものの、営業活動の促進等により付保率が向上、契約獲得の増加に寄与
- 新規契約獲得件数の増加やシムネット社の業績好調などが寄与し、経常収益、経常利益ともに期初計画を達成

ペット業界のインフラプレーヤーを目指すアニコムグループとして、#StayAnicomプロジェクトをはじめ、社会貢献活動を継続実施中（累計お預かり65頭）。引き続き、事業の拡大とペット業界への貢献を両立させながら、増収増益の実現を目指す

2021年3月期 第2四半期 決算概要

1. 連結経常収益・経常利益・修正利益の推移
2. 連結損益計算書 サマリー
3. 連結経常利益の増減要因（2019年度2Q実績 VS 2020年度2Q実績）
4. 連結貸借対照表 サマリー
5. 連結キャッシュ・フロー サマリー
6. 連結経常費用・利益のパラメータ
7. 中期経営計画 2020年度重点施策の進捗状況
8. 第二期創業期に向けた歩み①（遺伝子検査の効果）
9. 第二期創業期に向けた歩み②（予防型保険の効果イメージ）
10. 第二期創業期に向けた歩み③（予防型保険の効果：継続率の向上）
11. 第二期創業期に向けた歩み④（動物愛護法改正に向けたアニコムグループの取組み）
12. トピックス（中国平安財産保険との業務提携に関する基本合意書締結）
13. トピックス（シニア債の発行／株式分割の実施）

1. 連結経常収益・経常利益・修正利益の推移

■ **経常収益** : 23,595 百万円 (前年同期は 20,045 百万円 **17.7% 増** 計画は 22,200 百万円 **6.3% 増**)
 (うち、保険引受収益: 21,190 百万円 前年同期は 19,043 百万円 **11.3% 増**)

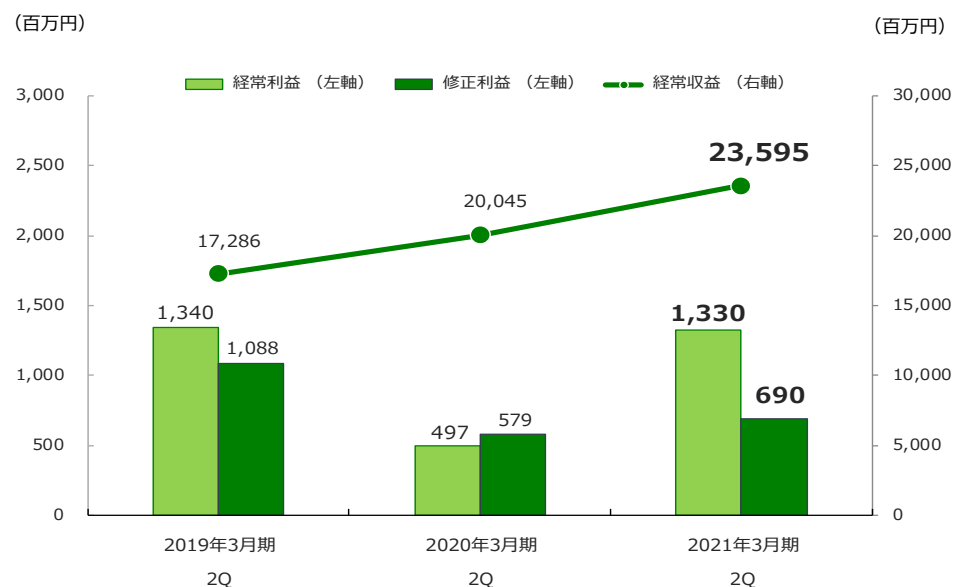
■ **経常利益** : 1,330 百万円 (前年同期は 497 百万円 **167.2% 増** 計画は 1,100 百万円 **20.9% 増**)

・ **対前年同期では**、グループ各社のサービスも活用し独自性を追求する新規取組みの強化等により、**保有契約件数** (11.5%増) **保険引受収益** (11.3%増) **ともに順調に増加。**

・ **対前年同期では**、遺伝子検査・病院運営・シムネット社のグループイン等により、その他経常収益も順調に拡大し、**連結の経常収益・利益ともに堅調に推移。** (ペット保険事業の実質的な損益を表す修正利益^(注)も、対前年同期で増加)

■ **純利益** : 718 百万円 (前年同期は 344 百万円 **108.7% 増** 計画は 790 百万円 **9.0% 減**)

・ **対前年同期では倍増となったが、対計画で減少。** (損保社のソフトウェアの減損損失(278百万円)を特別損失に計上)



(注) 修正利益 : 経常利益から異常危険準備金、資産運用収支、その他経常収支等の影響を除外した利益。“ペット保険事業の実質的な損益”を表す当社グループ独自の指標。

2. 連結損益計算書 サマリー

(百万円)

主な勘定科目の内容と増減理由

	20年3月期 2Q	21年3月期 2Q	対前期 増減率
経常収益	20,045	23,595	17.7 %
保険引受収益	19,043	21,190	11.3 %
資産運用収益	193	284	47.4 %
その他経常収益	809	2,120	162.0 %
経常費用	19,547	22,265	13.9 %
保険引受費用	13,644	15,125	10.9 %
(正味支払保険金)	(9,852)	(11,346)	15.2 %
(損害調査費)	(525)	(561)	6.8 %
(諸手数料及び集金費)	(1,747)	(2,158)	23.5 %
(支払備金繰入額)	(385)	(209)	△ 45.6 %
(責任準備金繰入額)	(1,134)	(850)	△ 25.0 %
(うち未経過保険料)	(817)	(835)	2.2 %
(うち異常危険準備金)	(316)	(14)	△ 95.4 %
資産運用費用	1	38	3,465.7 %
営業費及び一般管理費	5,553	6,433	15.8 %
その他経常費用	348	668	91.5 %
経常利益	497	1,330	167.2 %
特別損益	△ 16	△ 244	1,345.1 %
純利益	344	718	108.7 %

アニコム損害保険株式会社単体指標

E/I 損害率 ①	59.1 %	59.3 %	0.2 pt
既経過保険料 ^ハ -ス事業費率 ②	37.8 %	37.2 %	△ 0.6 pt
コバ ^イ ト ^レ ・レ ^イ シ(既経過保険料 ^ハ -ス) ①+②	96.9 %	96.5 %	△ 0.4 pt

① 保険引受収益 (詳細は「アニコム損保単体：経常収益のパラメータ」(P18)参照)

- ・保有契約件数が対前年同期比で11.5%増加。
- ・新規契約件数累計が対前年同期比で33.2%増加。
- ・継続契約件数の増加、商品(料率)改定、加齢に伴う保険料単価の上昇も寄与。

② 資産運用収益

- ・主に国内株式・投信・国内REITにより堅調な資産運用収益を確保。

③ その他経常収益

- ・病院運営・ブリーダーマッキング・遺伝子検査を含む保険事業以外のその他経常収益も順調に拡大。

④ 正味支払保険金

- ・保有契約の増加に伴い、保険金支払も増加傾向。

⑤ 諸手数料及び集金費

- ・主に代理店に対する手数料。保険引受収益の増加に伴い増加傾向。

⑥ 支払備金繰入額

- ・将来の保険金支払に備えるための繰入額。支払備金(B/S)期末残高-期首残高で算出。
- ・④正味支払保険金と合算することで、発生保険金となる。

⑦ 未経過保険料繰入額

- ・収入保険料のうち翌期以降に対応する保険料の繰り延べ。
- ・繰入額は期末残高-期首残高で算出される。なお、その期における保険引受収益のおおよそ35%-40%前後が期末残高となる。
- ・保険引受収益から未経過保険料繰入額を差し引くと既経過保険料(≒発生ベースの保険料)となる。

⑧ 異常危険準備金

- ・制度化された積立であり、収入保険料の3.2%を毎期計上。
- ・一方、当期首残高を限度額として「正味損害率が50%となる水準」まで取崩すこととなり、繰入額はそのNet金額が計上される。
- ・通期では、おおよそ「増収分×3.2%」が繰入額として計上される。

⑨ 営業費及び一般管理費

- ・シムネット社の子会社化や病院承継によるのれん償却が含まれる。

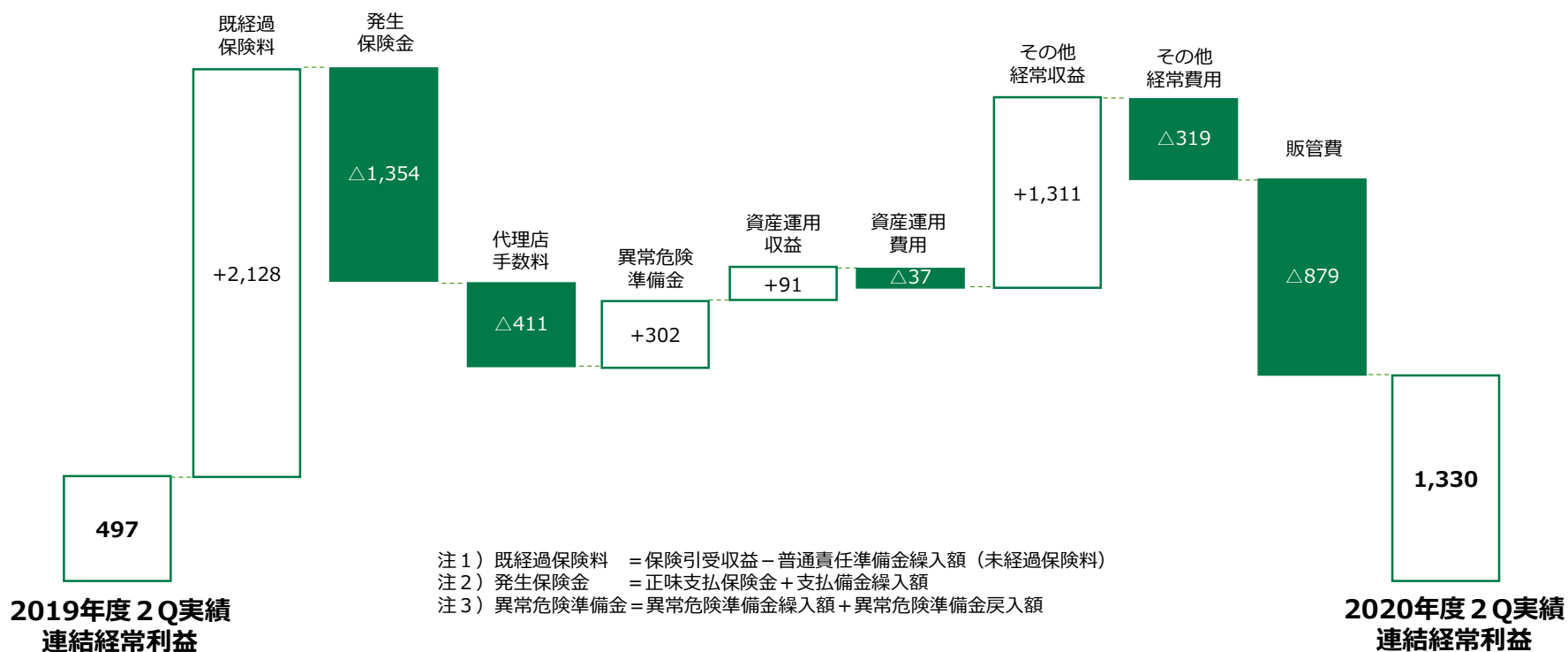
⑩ 特別損益

- ・損保社のソフトウェアの減損損失278百万円等が含まれる。

3. 連結経常利益の増減要因（2019年度2Q実績 VS 2020年度2Q実績）

保有契約件数の増加や保険引受収益の増収に加え、シムネット社の業績好調等も寄与し増益

(百万円)



4. 連結貸借対照表 サマリー

(百万円)

	20年3月期	21年3月期 2Q	増減率
資産合計	45,598	53,221	16.7 %
現金及び預貯金	24,427	30,978	26.8 %
有価証券	9,999	10,814	8.2 %
有形固定資産	1,858	1,988	7.0 %
無形固定資産	3,956	3,578	△ 9.6 %
その他資産	4,390	4,975	13.3 %
繰延税金資産	1,041	962	△ 7.6 %
貸倒引当金	△ 75	△ 76	- %
負債合計	22,273	28,607	28.4 %
保険契約準備金	17,977	19,037	5.9 %
うち支払備金	2,328	2,537	9.0 %
うち責任準備金	15,649	16,499	5.4 %
社債	-	5,000	- %
その他負債	4,018	4,253	5.9 %
賞与引当金	209	242	16.1 %
価格変動準備金	68	74	9.6 %
純資産合計	23,325	24,613	5.5 %
株主資本	23,719	24,724	4.2 %
うち資本金	7,981	8,174	2.4 %
うち資本剰余金	7,871	8,064	2.5 %
うち利益剰余金	7,868	8,486	7.9 %
うち自己株式	△ 0	△ 1	- %
評価・換算差額等	△ 530	△ 110	- %
新株予約権	135	-	- %
負債・純資産合計	45,598	53,221	16.7 %

主な勘定科目の内容と増減理由

① 有価証券

- ・ 主に国内株式投信・国内REIT等にて運用。

② 無形固定資産

- ・ シムネット社の子会社化や病院承継によるのれんが含まれる。

③ 支払備金

- ・ 将来の保険金支払に備えて計上される未払金。
すでに請求を受けている①普通支払備金と、保険事故は発生しているものの未だ請求を受けていない②IBNR備金を計上。
- ・ 基本的に保有契約の増加に伴い保険金請求も増加するため増加傾向。

④ 責任準備金

- ・ 未経過保険料である①普通責任準備金（15,026百万円）と、異常災害に備えて引き当てる②異常危険準備金（1,473百万円）を計上。
- ・ 普通責任準備金は保有契約の増加に伴い増加する傾向であり、当該期における正味収入保険料のおおよそ35%~40%前後が残高として計上される傾向。

⑤ 社債

- ・ 第1回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）の発行により調達。

5. 連結キャッシュ・フロー サマリー

(百万円)

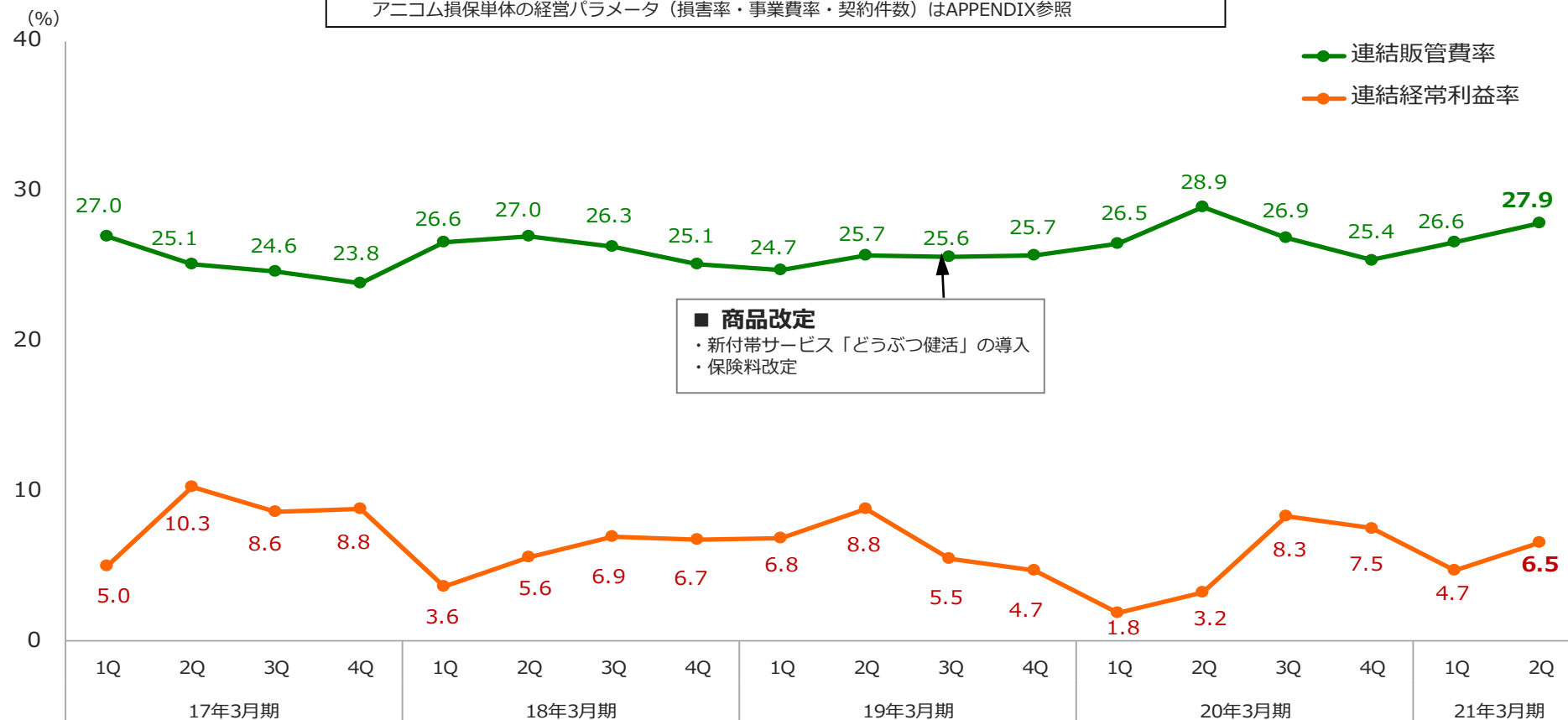
	20年3月期 2Q	21年3月期 2Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,978	2,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,271	△ 610
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 96	5,160
現金及び現金同等物の増減額	△ 4,389	6,551
現金及び現金同等物の期首残高	27,693	21,577
現金及び現金同等物の期末残高	23,303	28,128

- ・保有契約件数は順調に増加しており、安定した営業キャッシュ・フローを計上。
- ・投資キャッシュ・フローは固定資産の取得による支出。
- ・財務キャッシュ・フローは社債の発行による収入。

6. 連結経常費用・利益のパラメータ (※連結販管費率、連結経常利益率)

※ 経常費用・利益のパラメータは連結ベースにて記載することに変更しております。

アニコム損保単体の経営パラメータ（損害率・事業費率・契約件数）はAPPENDIX参照



- ・ **連結販管費率について**、好調な新規契約の獲得や「どうぶつ健活」の申込みの増加等がある中でも、大幅な上昇は抑えられている。
- ・ **連結経常利益率については**、保険事業における保険金については、例年、狂犬病予防接種などにより動物病院の繁忙期である1Q・2Qに上昇した後、3Qから4Qにかけて通院頻度が減少することで改善していくといった季節性を有している。

7. 中期経営計画 2020年度重点施策の進捗状況

■ ペット保険事業のさらなる収益力拡大と独自性の追求（保険金削減と費用改善）

重点施策	直近の進捗状況
(1) 販売チャネルの拡大・強化（ブリーダー、譲渡、動物病院等）	<ul style="list-style-type: none"> ■ WEB、マッチングサイト、ブリーダー、譲渡、動物病院等の販売チャネルの拡大推進 ■ シムネット社との連携により、保険付保率の向上、動愛法改正を踏まえたリアルとデジタルの融合推進 ⇒登録ブリーダーの一部で保険の対面販売を開始し、付保率が向上 ■ 明治安田生命でペット保険の取り扱いを開始 ● 新規契約獲得件数は4-9月で10万件超（半期レベルで過去最高） ● 保有契約件数は87万件超（前年同期比+11.5%） ● 2Qも堅調な資産運用収益を確保
(2) 商品・サービスの拡大（「どうぶつ健活」等、独自サービスの拡充）	
(3) 疾病毎の予防取組みの拡充、保険金の適正化	
(4) 将来を見据えた基幹システムのバージョンアップと盤石化	
(5) シムネット社とのグループシナジー拡大（リアルとデジタルの融合推進）	
(6) 運用強化（柔軟かつ機動的な運用、G事業に寄与する不動産の取得・開発）	

■ 新規事業の拡大、収益化の加速



重点施策

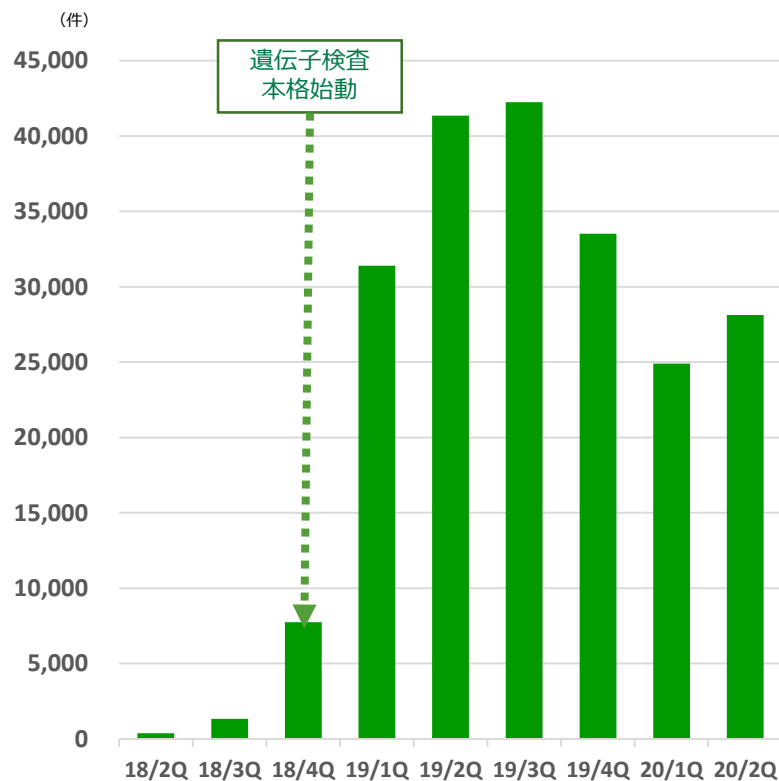
直近の進捗状況

(1)	遺伝子検査事業の拡充	川上	<ul style="list-style-type: none"> ■ ロボットを導入し遺伝子検査体制を強化 ■ 性格（行動）、品種、毛色、体質、親子判定などを一度に測定可能に。実装準備中
(2)	ブリーディングサポートの事業化	川上	<ul style="list-style-type: none"> ■ 動物愛護法の改正対応に向けた各種サポート（医療、販売、引退動物等）を検討中 ■ 交配や出産に係る研究を継続（交配適期診断、冷凍精子保存技術の向上に向けた研究等）
(3)	健康診断+フード・商材等の事業化推進	川中	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「どうぶつ健活」申込み数は、月1万件超に達し、順調に申込み数が増加 ■ フードメーカー等と協働したペット用サプリメントを共同開発。販売開始
(4)	動物病院承継の推進	川中	<ul style="list-style-type: none"> ■ 病院運営を更に拡大し、地域の中核病院もグループイン。予防施策も継続実施中
(5)	細胞治療・再生医療の実用化拡大・普及	川下	<ul style="list-style-type: none"> ■ 動物再生医療技術研究組合「イヌ皮下脂肪由来の間葉系幹細胞（cMSC）」の全国搬送を開始 ■ 動物再生医療技術研究組合「ネコ皮下脂肪由来の間葉系幹細胞（fMSC）」を用いた細胞治療サービスを開始 ■ 犬14疾患、猫12疾患の有償臨床研究を実施中
(6)	高齢のひと・ペットに配慮した事業の展開	川下	<ul style="list-style-type: none"> ■ 高齢者・高齢ペット向けの新サービス、新商品の開発検討
(7)	その他（海外案件等）	-	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中国平安財産保険との業務提携に関する基本合意書締結

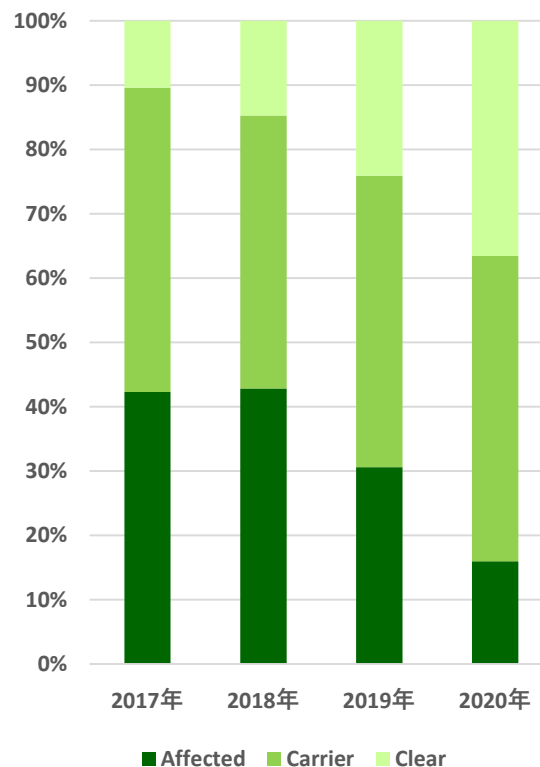
8. 第二期創業期に向けた歩み① (遺伝子検査の効果)

- 2019年から本格始動した遺伝子検査は確実にペットショップやブリーダーに浸透
- コーギーのDMをはじめ、遺伝病撲滅に向けた成果は確実に始めている

遺伝子検査検体数の推移



コーギー DM (変性性脊髄症) のアフェクテッド率の推移



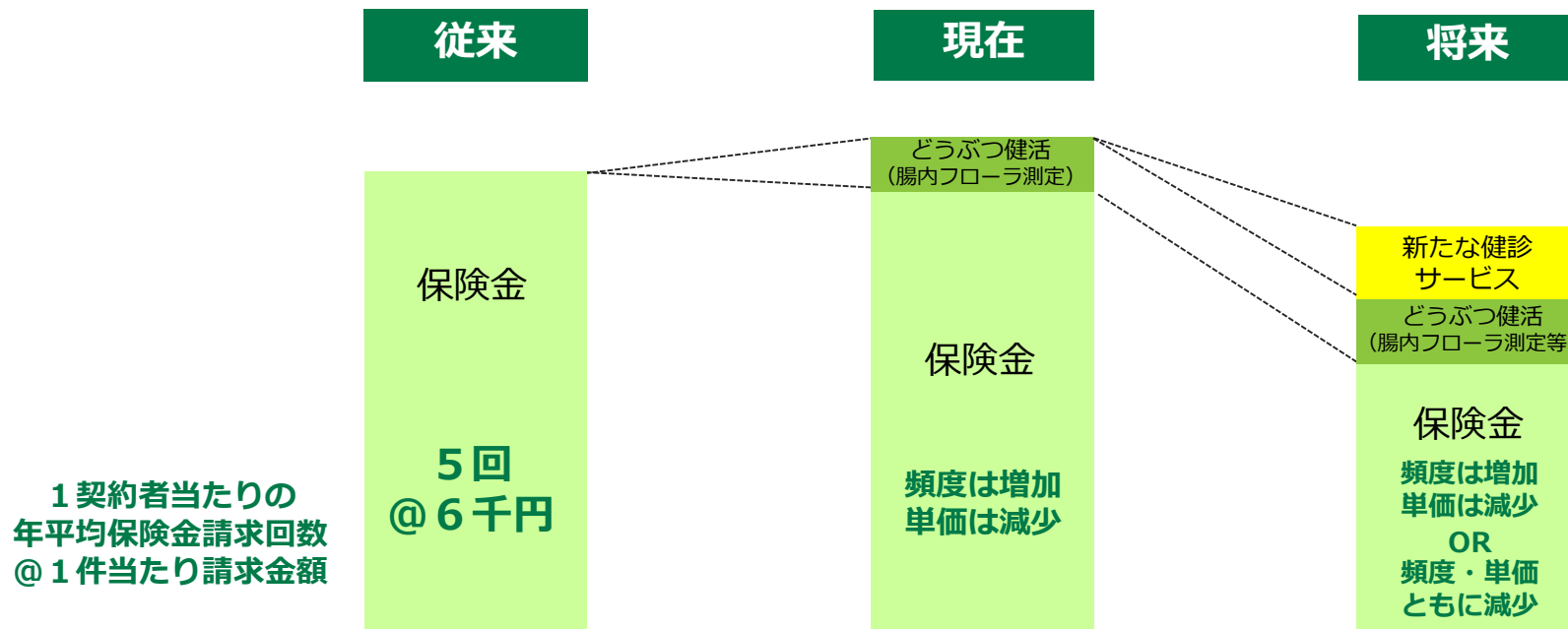
ウェルシュ・コーギーの変性性脊髄症 (DM) の検査結果が、アフェクテッド (疾患遺伝子変異を保有し疾患リスクが高い) となった生体が、42%から16%へ低下。例えば、この疾患が完全に無くなる場合、年間保険金が70万円程度削減される見込み。



ブリーディングサポートを行うことで、遺伝病のない健康な犬猫の流通を促すとともに、疾患に関連する未知なる遺伝子の解明を目指し、遺伝病に苦しむどうぶつを減らしていきます。

今後は検査項目拡大し、遺伝病を撲滅させ、収益・利益の拡大を目指す！！

9. 第二期創業期に向けた歩み② (予防型保険の効果イメージ)



入って健康になる保険のポイント！

- どうぶつ健活 (腸内フローラ測定等) による疾病の早期発見 (ex.猫の腎臓病等) に加え、
 - 様々な疾病に対応した新たな健診サービスの追加、
- による、掛け捨てでない、アニコムに保険に入ってよかったと思えるサービスを提供

① 診察頻度が増えても、診察単価が減少 (保険金減少)

② 病院に行かず自宅ケア (食事療法等) の促進 (保険金減少)

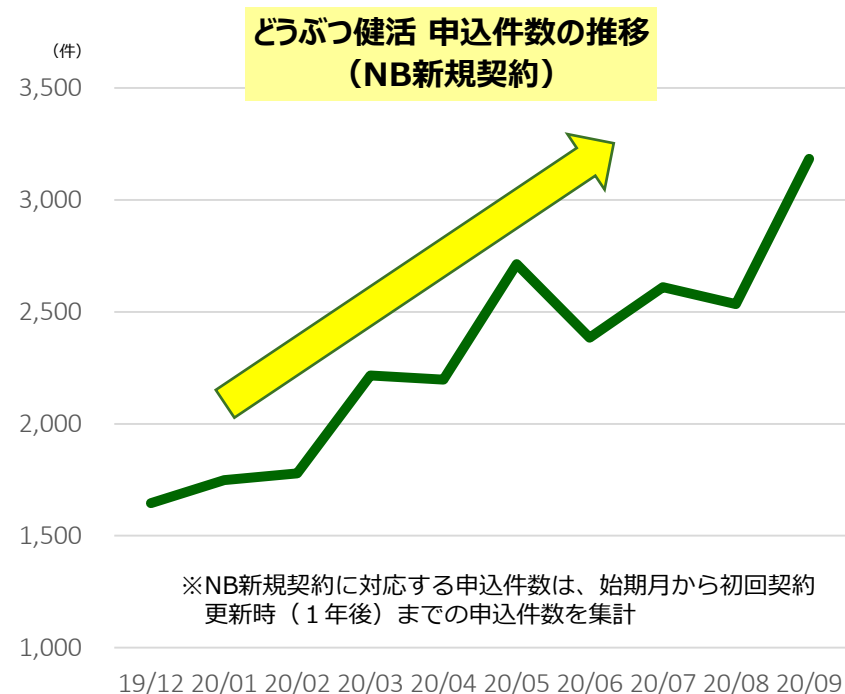
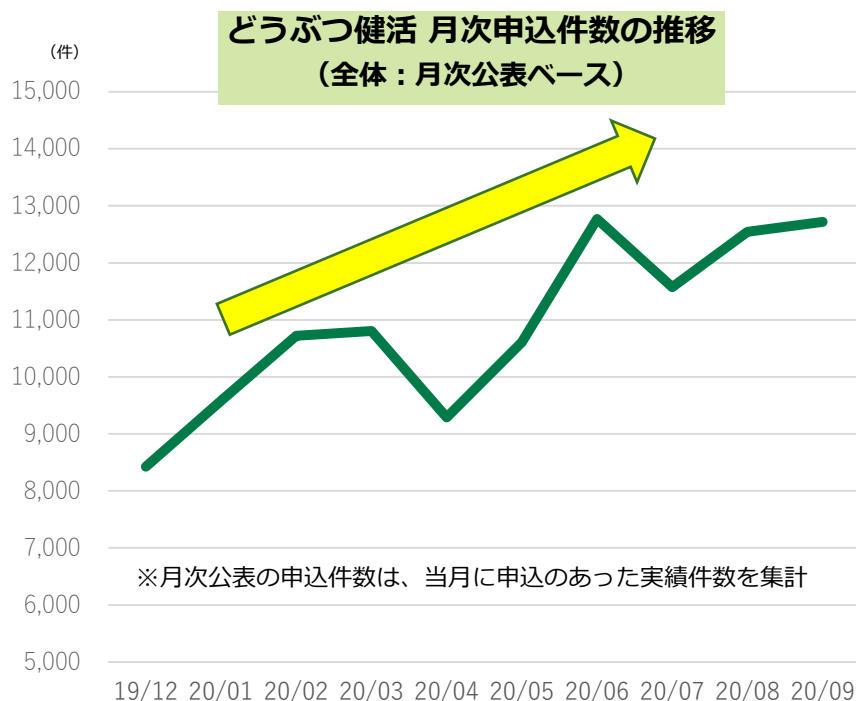
① 付加価値の向上により、
- 新規契約獲得
- 継続率向上
にも寄与

② 新たな治療法等を確立することで保険金減少にも寄与

保険金と付帯サービス費用の合計額が減少
(コンバインド・レシオの低下)

10. 第二期創業期に向けた歩み③ (予防型保険の効果：継続率の向上)

- どうぶつ健活（健診サービス）の申込数の増加により、昨年末に比べNB新規契約の継続率が3～4ポイント向上
- どうぶつ健活を利用した層の継続率は、全体に比べ10ポイント程度上振れ。
NB新規契約の継続率の押し上げに貢献



- どうぶつ健活（健診サービス）が、継続率向上に貢献！！

11. 第二期創業期に向けた歩み④ (動物愛護法改正に向けたアニコムグループの取組み)

**2021年6月に改正動物愛護法が施行され、
適正な飼養管理における数値基準が導入予定**

【新規制の内容】

- ①施設の設備構造・規模
- ②飼養に従事する人員数
- ③繁殖に係る生涯出産回数 など



**ブリーダーやペットショップのコスト増、
繁殖頭数（供給量）減少、引退動物の急増
などが想定され、ペット業界においては、
大きな影響が出る可能性**

**アニコムグループは、健全なペット飼育環境を構築し、ペット業界の健全化を支援すべく、
事業者の法令遵守と収益拡大の両立を実現すべく設備・交配効率・健康管理等を総合的にサポート
あわせて、殺処分ゼロに向けた取組みや里親への譲渡等について、自治体との協働を推進**

ブリーディングサポート

- 遺伝子検査**：
カスタムパネルによる新サービス提供
- 繁殖サポート**：
限られた飼育頭数でも繁殖効率を最大化
- 医療サポート**：
往診、予防・駆虫、マイクロチップ、帝王切開
- 事業支援システム**：
IoTの力で信頼されるブリーディングを支援
- 終生飼養施設**：
引退動物の引き受け、里親探し



自治体との連携・協働

- 三重県との取組み**：
三重県と協働して、保護した犬や猫の心（しつけ）と身体（健診）のケアを行い譲渡していく取組みを実施
三重県内に終生飼養施設を建設予定
- 名古屋市との取組み**：
名古屋市と協働しWeb譲渡会を実施（11月8日）
アニコム損保の支店を撮影場所として提供
今後、様々な取組みの協働を検討中

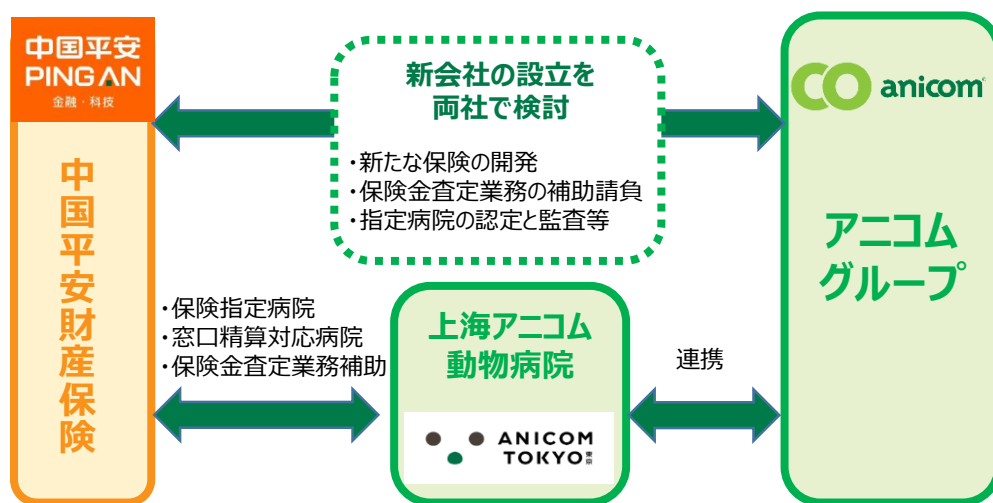
12. トピックス (中国平安財産保険との業務提携に関する基本合意書締結)

■ 基本合意書締結の目的

中国国内でのペット保険事業の一翼を担い、ペットの病気等の研究や医療分野における知見を展開し、平安グループとともにペット分野における金融+健康を共同で確立していく

■ 基本合意書締結の概要

- 平安財産保険が中国で販売するペット保険への助言
- 上海アニコム動物病院が、ペット保険の指定病院及び窓口精算対応病院となることならびに中国国内の保険金の査定業務の補助を請負
- 両社間で中国国内の新たなペット保険の開発及び保険金の査定業務の補助の請負ならびに指定病院の認定と監査などの業務を担う新会社の設立を検討



(参考) 中国平安グループについて

【会社概要】

中文社名：中国平安保険（集団）股份有限公司

英文社名：

Ping An Insurance(Group) Company of China, Ltd.

時価総額世界1位の保険会社グループであり、総合金融サービスグループ。傘下には生保、損保（財産保険）、銀行、信託がある。

【ビジョン】

世界をリードする科学技術型個人金融生活サービスグループになることを目指す。

【経営理念】

「金融+科学技術」、「金融+エコシステム」の戦略計画の指針で、金融資産、大医療健康の二大産業に焦点を当て、クリエイティブテクノロジーを伝統的な金融と「金融サービス、医療健康、自動車サービス、不動産サービス、スマートシティ」の5つのエコシステムに応用していく。

13. トピックス (シニア債の発行/株式分割の実施)

■ 第1回無担保社債の発行

第二期創業期の新規事業拡大に向けた資金調達を実施

1. 社債発行条件

(1) 社債の名称	アニコム ホールディングス株式会社 第1回無担保社債 (特定社債間限定同順位特約付)
(2) 社債総額	金50億円
(3) 償還期限	2025年9月11日(5年債)
(4) 利率	年0.300パーセント
(5) 払込期日	2020年9月11日
(6) 取得格付	A(株式会社日本格付研究所)

2. 資金使途の概要

動物病院の事業承継や、保険事業以外への投融資等

■ 株式分割の実施

個人投資家等に対して投資しやすい環境の整備により
株式の流動性を高め、投資家層の拡大を図る

株式分割の概要

(1) 分割の方法(分割比率)

普通株式1株につき、4株の割合をもって分割

(2) 分割により増加する株式数

① 分割前の発行済株式の総数	20,314,200株
② 分割により増加する株式数	60,942,600株
③ 分割後の発行済株式の総数	81,256,800株
④ 分割後の発行可能株式総数	192,000,000株

(3) 分割の日程

① 基準日公告日	2020年9月11日(金)
② 分割の基準日	2020年9月30日(水)
③ 分割の効力発生日	2020年10月1日(木)

株式分割と併せてWEBを活用した個人向けIR活動の実施等による
中長期保有の個人株主の獲得を推進

APPENDIX

1. 主要経営パラメータ
2. アニコム損保単体：経常収益のパラメータ（ペット保険新規契約獲得件数／保有契約件数の推移）
3. アニコム損保単体：経常費用のパラメータ（損害率（E/I）、既経過保険料ベース事業費率）
4. 新規事業の収益機会とペット保険のシナジー相関

1. 主要経営パラメータ

	①	②	③	③-①		③-②		21年3月期末 (5月12日予想)
	20年3月期 2Q	20年3月期末	21年3月期 2Q	前年同期比 件数	率	対前期末 件数	率	
① 保有契約数	781,368 件	816,254 件	870,987 件	89,619 件	11.5 %	54,733 件	6.7 %	885,000 件
② 新規契約数	80,533 件	167,318 件	107,295 件	26,762 件	33.2 %	-	-	183,600 件
③ 継続率	87.0 %	87.2 %	87.5 %	-	-	-	-	87.0 %
④ 保険金支払件数	1,672 千件	3,407 千件	1,857 千件	185 千件	11.1 %	-	-	3,586 千件
⑤ 対応動物病院数	6,463 病院	6,466 病院	6,485 病院	22 病院	0.3 %	19 病院	0.3 %	6,650 病院

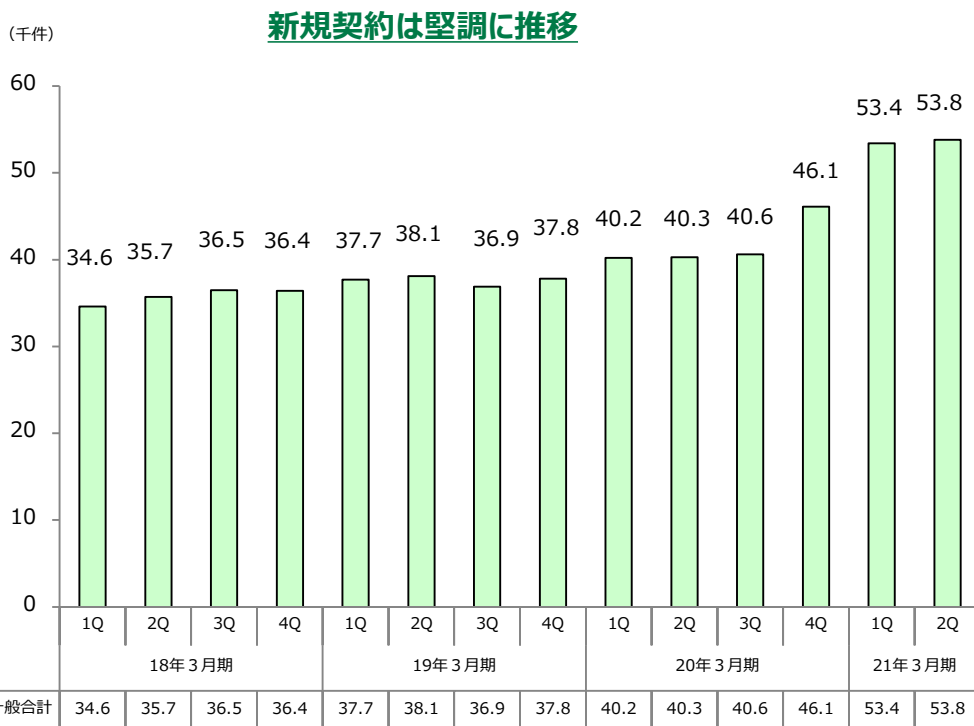
	20年3月期 2Q	21年3月期 2Q	対前年同期増減	21年3月期 (5月12日予想)
⑥ E/I 損害率	59.1 %	59.3 %	0.2 Pt	57.6 %
⑦ 既経過保険料ベース事業費率	37.8 %	37.2 %	△0.6 Pt	37.2 %
⑧ コンバインド・レシオ (既経過保険料ベース)	96.9 %	96.5 %	△0.4 Pt	94.8 %

	20年3月期末	21年3月期 2Q	対前期末増減	21年3月期 (5月12日予想)
⑨ 単体ソルベンシー・マージン比率	357.0 %	357.6 %	0.6 pt	370.0 %前後

	20年3月期 2Q	21年3月期 2Q	対前年同期増減
⑩ どうぶつ健活 (腸内フローラ測定) 申込数	39,497 件	69,509 件	30,012 件
⑪ 遺伝子検査検体数	72,761 件	53,031 件	△19,730 件

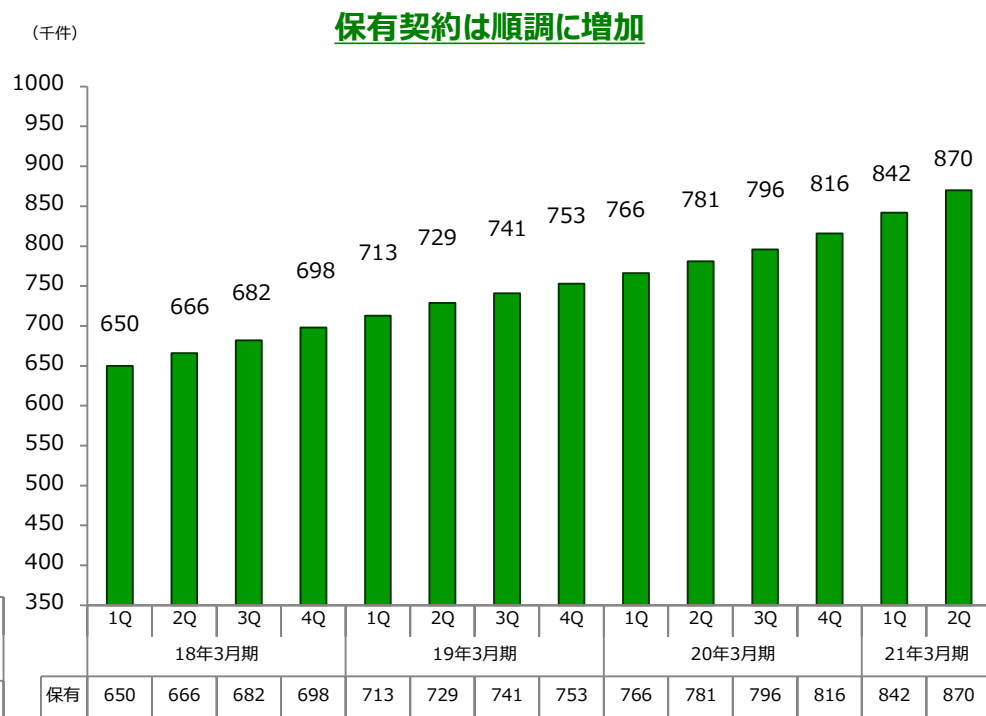
2. アニコム損保単体：経常収益のパラメータ（ペット保険新規契約獲得件数／保有契約件数の推移）

■ 新規契約獲得件数の四半期推移



※ NB：ペットショップチャネル

■ 保有契約件数の四半期推移



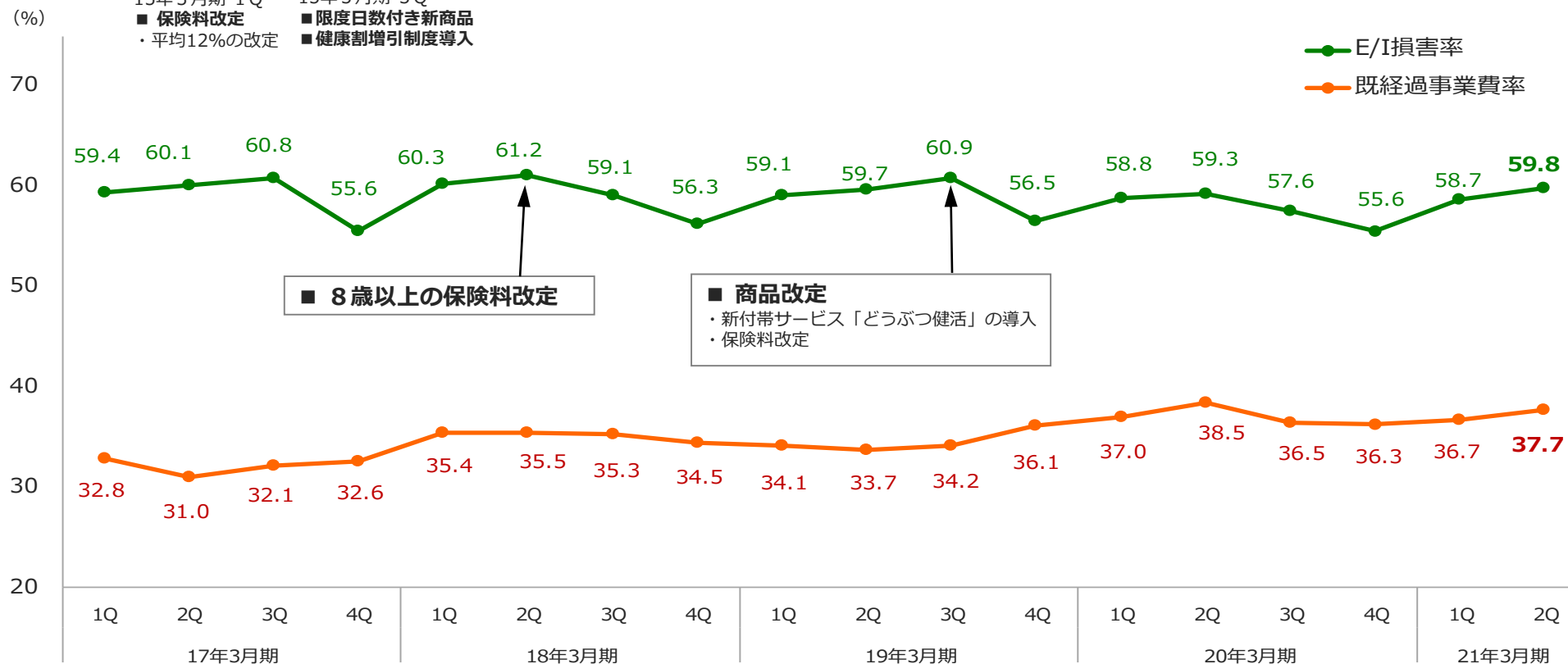
- ・ **新規契約獲得は堅調。** NB・一般チャネル合わせて**10.7万件となり、年間計画18.3万件に対して58%の進捗率で計画線を上回って推移。**
- ・ **既契約の継続率も、87%台半ばで改善傾向。**
- ・ こうした状況下で、**保有契約件数は順調に増加。**
- ・ 50%プランと70%プランの比率は、保有契約全体ではおおよそ60：40で50%プラン割合が多い。一方、新規契約では70%プランが5割超。

3. アニコム損保単体：経常費用のパラメータ（損害率（E/I）、既経過保険料ベース事業費率）

【参考情報】

15年3月期 1Q 15年3月期 3Q
 ■ 保険料改定 ■ 限度日数付き新商品
 ・平均12%の改定 ■ 健康割引増引制度導入

注1) 下表は、四半期毎の平均値を記載しておりますので、当期累計平均とは異なります。
 注2) 事業費率は「既経過保険料ベース事業費率」（損保事業費÷既経過保険料）を表しております。

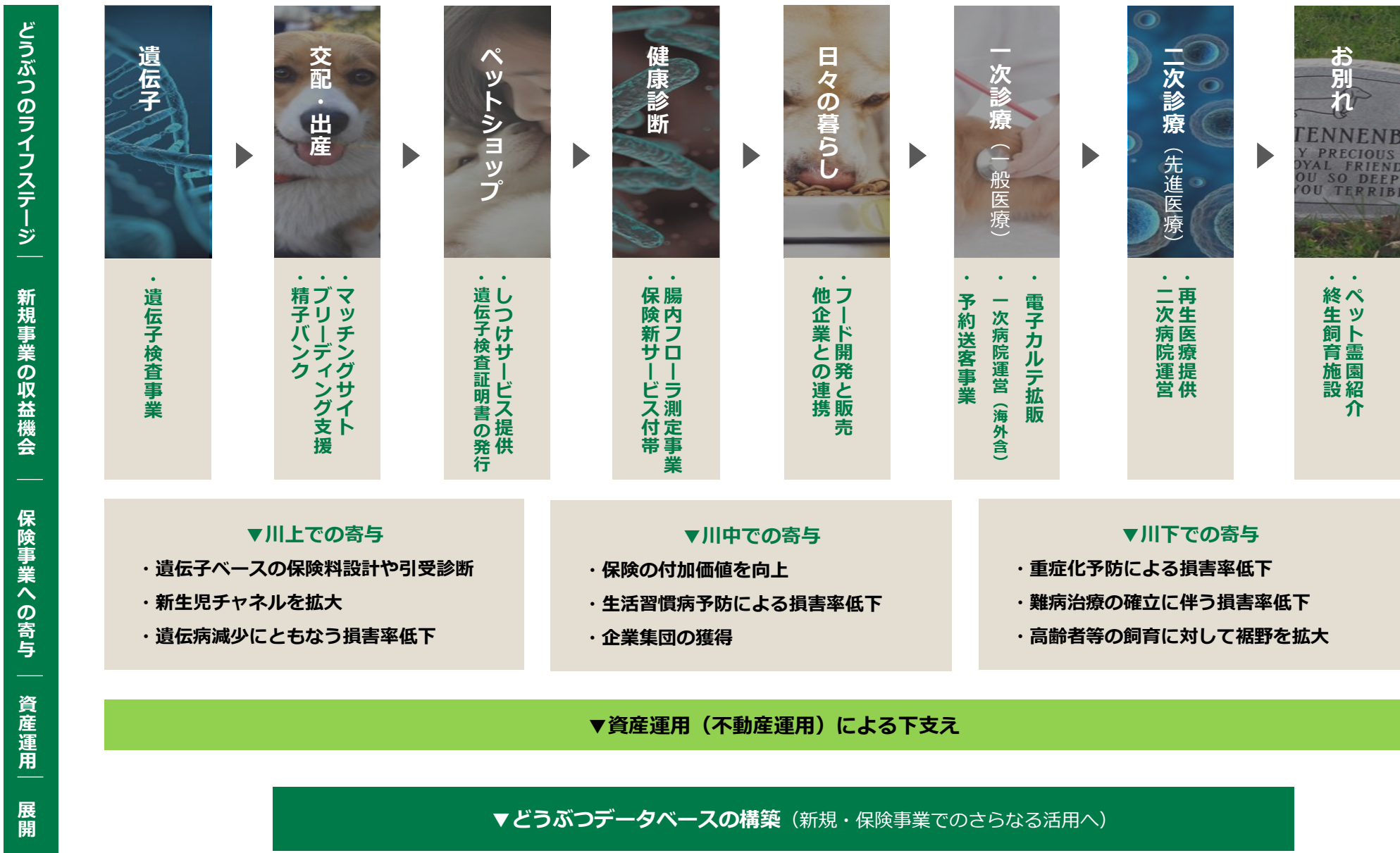


・ **E/I損害率は**、例年、狂犬病予防接種などにより動物病院の繁忙期である1Q・2Qに上昇した後、3Qから4Qにかけて通院頻度が減少することで改善していく季節性を有している。当期は、新型コロナウイルスの影響による在宅時間の増加等を要因として通院数が増加したことから、**対前年同期比で上昇**。

・ **事業費率は**、事業規模拡大に向けた積極投資を継続しながらも、**対前年同期比で改善**。

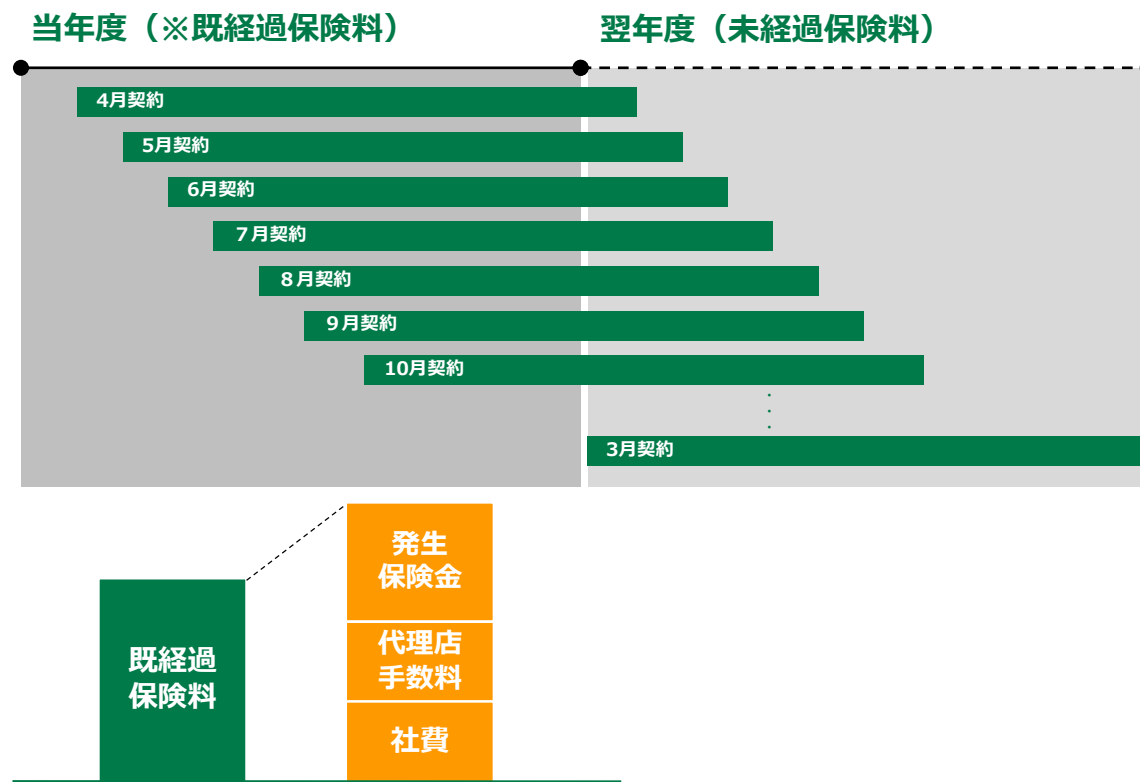
これは、**独自サービスである「どうぶつ健活」の申込みの増加がある中で、効率的な経費管理を推進することにより全体としては改善出来たことによるもの**。

4. 新規事業の収益機会とペット保険のシナジー相関



1. 保険料の増加が経常損益に与える影響 (日本の損保会計ベース)

- ・一般的に、保険料の増加は経常収益の増加に寄与しますが、事業年度における保険料の未経過期間部分については、普通責任準備金（未経過保険料）として次年度に繰り越すことが法令により定められています。一方で、発生保険金、代理店手数料、社費等の費用については、保険料の増加に対応する費用を含め、これらの費用が発生する年度において計上することとされています。
- ・したがって、保険料の増加に伴い増収となる場合であっても、当該費用が既経過保険料を超過する場合は、当該年度の経常損益にマイナスの影響を与えることとなります。



2. 異常危険準備金が経常損益に与える影響 (日本の損保会計ベース)

- ・異常危険準備金は、巨大災害等が生じた場合の保険金の支払いに備えるために法令により積み立てておくこととされているものであり、各保険会社が毎期積み立てを行っているものです。
- ・異常危険準備金は、**正味損害率^(※)が50%を超えると取崩し(費用のマイナス)が行われます。**
(※) 正味支払保険金を正味収入保険料で除した割合です。

3. 修正利益について

- ・当社における「修正利益」とは、経常利益から異常危険準備金、資産運用収支、その他経常収支等の影響を除外した利益としており、“ペット保険事業の実質的な損益”を表す当社グループ独自の指標です。なお、計算式は、以下のとおりです。
- ・上記の異常危険準備金等^(※)の影響を受けない「修正利益」の方が、“ペット保険事業の実質的な損益”を表すものとして重要な指標であると考えています。異常危険準備金等の要素を除くと、「修正利益」は、経常利益が減少した場合でも増加することがあります。
(※) 当該影響等には、上記1.の未経過保険料の影響は含まれていません。

当社の「修正利益」の算出方法





お問合せ先

アニコム ホールディングス株式会社 経営企画部（IR事務局）

東京都新宿区西新宿 8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー39階

URL : <https://www.anicom.co.jp/>

【本資料に関する注意事項】

本資料は、現在当社が入手している情報に基づいて、当社が本資料の作成時点において行った予測等を基に記載しております。

これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、一定のリスクや不確実性を内包しております。

従いまして、将来の実績が本資料に記載された見通しや予測と大きく異なる可能性がある点をご承知おきください。

なお、本資料は情報提供のみを目的としたものであり当社が発行する有価証券への投資の勧誘・募集を目的としたものではありません。